

2017年 春山合宿



唐松岳山荘の幕営地から剣岳

記録 福澤 卓三

日時：2017年4月29日夜(土)～5月2日

メンバー：L福澤 卓三、河本 嘉照

コースタイム：

4月29日(土)

新宿バスタ(18:15)－白馬八方(23:30)

長距離バスを予約していたため、ゆっくりと新宿バスタから白馬八方まで行くことができた。長距離バスはいつもなかなか寝付かれないが、疲れていたせいかわよく眠れた。白馬八方のバス停で一寝入りしようと、幕を張るのにかよいところを探していたら、屋根付きのよい場所があった。なんと足浴場で二段になっていてお湯が入っていない。下の段なら上の段か

ら、お湯が流れてくるまでには気がつくだろうと相談して足浴場にマットを敷いて二人で入って寝た。誰にも見られず、風に当たらず暖かくなんと朝まで熟睡した。朝お湯を入れに来たお兄さんもあきれてしまったのかおこりもせず、笑顔で起こしてくれた。

4月30日(曇り)

ゴンドラリフトアダム(7:45)－アルペングラッド－グラードクワッド(8:20－8:30)－八方ケルン(9:30)－第3ケルン(9:45)-丸山ケルン(11:30)－唐松山頂山荘(12:50)－唐松岳(13:25－13:45)－唐松山頂山荘(14:00)－幕営は山荘の倉庫の上(15:30)

白馬八方のバス停から、ゴンドラの乗り場までは徒歩で15分ほど離れていた。スキー客は車で来ているのか、ゴンドラの乗り場まであまり人に会わなかったが、乗り場には300人ほど並んでいた。上部のリフトは風が強くて動かないと言っていたが、なんとかゴンドラとリフトを乗り継いで八方池山荘に着いた。今年は雪が多くここでアイゼンをつけた。第二ケルン(八方山ケルン9時30分)、第三ケルン(八方池9時45)と順調に過ぎ、天気がよく白馬三山がよく見える。丸山ケルンには11時30分についた。そこから1時間30分で稜線から80mほど眼下に唐松山頂山荘が見えた。唐松岳が右上にあり、頂上へ行き、写真を撮ってから小屋に戻った。天幕を張る場所を探したが、いいところがなく倉庫らしい小屋の屋根の上に30分ほど整地してから幕営した。天気予報は、入山する前の段階では明日は悪くなる。



白馬三山(右から白馬岳・杓子岳・白馬鑓ヶ岳)



白馬三山をバックに河本



不帰Ⅰ峰・Ⅱ峰・Ⅲ峰をバックに



丸山ケルンで福澤



不帰Ⅱ峰・Ⅲ峰



唐松岳頂上(2695.9m)



唐松岳から不帰方面

5月1日(雪)

1日停滞

夜に風はあまり強くないが雪が降ってきた。テントに積もる雪をはたき落としながら、トイレに外に出たときに雪かきをして、張綱を直した。早朝からみぞれのような雪が降り続けている。様子を見ていたが天気予報は当たっているようだ。視界も悪く風もあったので停滞をすることにした。

天幕の中で寝ていたが、小屋にコーヒーを飲みに行った。コーヒー代、休憩代を払ったのに、1時間ほどいたら追い出されてしまった。客も5人くらいしかいないのにひどいと思った。

15時くらいに天気が収まったように見えたので偵察に出かけたが風が強く、ひきかえしてきた。明日の天気に期待して早々と寝た。

5月2日(雪のち晴れ)

天気は回復すると思っていたが、夜、風が強く吹き、雪がやむことなく降り続いた。天幕のまわりの雪かきをしたが、天幕がどんどん雪で圧迫されてきて天幕の中から足や手で押したりしたが40cmほど埋まってしまう、ポールが曲がってしまった。朝食を済ませてから、外に出ると、天気は回復して剣岳がよく見えた。五竜岳への縦走路や、五竜岳西面もよく見えたが、こちらから見るとどこから取り付けばいいのかわからない。五竜岳への縦走路は昨夜の雪でラッセルになりトレースもなく登山者も我々だけで時間もかかりそうなので、今回は時間切れで下山することにして八方尾根経由で下山した。





唐松岳から五竜岳への縦走路



五竜岳西面(トレースが途中までついている)